

作成日 2024 年 4 月 20 日
(最終更新日 2024 年 6 月 19 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名：胃がん内視鏡検診クラウド読影システムの社会実装に向けた探索研究

1. 研究の対象

2023 年 4 月 1 日～2023 年 10 月 31 日までにつくば予防医学研究センターで 1 次読影医により胃内視鏡検査を受けた受診者 100 名

2. 研究期間

研究実施許可日～2025 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日：2024 年 8 月 1 日

提供開始(予定)日：2024 年 8 月 1 日

4. 研究目的

日本人の死因の第 1 位は「がん」であり、中でも胃がんは男性第 3 位、女性は第 5 位となっています。胃がん死亡の抑制には対策型内視鏡検診が有効であり、2016 年から従来の胃 X 線に内視鏡が加わりました。しかし、令和 3 年度の調査では、胃がん内視鏡検診を実施している市町村は全体の 48%であり全国展開には十分とは言えません。胃がん内視鏡検診には精度管理が重要ですが、多くの自治体では内視鏡画像を 2 名の内視鏡専門医が同じ時間・場所に集まり、PC 画面上で目合わせを行うことで 2 次読影を行い、結果をフィードバックしています。しかし、2 名が同時に集まるための時間調整、読影に関わる時間や労力などの課題があります。AI メディカルサービス(以下 AIM)社は内視鏡 AI に特化したベンチャー企業で胃の腫瘍性病変を AI で自動検出するシステムを開発しました。AIM 社は現在、胃がん内視鏡検診の読影をオンラインで完結できるシステムを開発しており、将来的に AI 技術を内視鏡読影に応用することが許容されれば、読影医の大幅な負担軽減につながることを期待されます。

本研究では 2 人の読影医体制を維持しつつ、“仮想的”な 2 次読影環境をネットワークにて構築することで、時間的、空間的課題を解消し、胃がん内視鏡検診クラウド読影システムの社会実装に向けての課題を明らかにすることを目的としています。

5. 研究方法

2023 年 4 月 1 日～2023 年 10 月 31 日までにつくば予防医学研究センターで 1 次読影医により胃内視鏡検査を受けた受診者 100 名を対象とします。対象者の電子カルテより得られた問診情報および内視鏡画像データベースより得られた内視鏡画像を匿名化後にクラウド上の AIM 社の読影システムである gastro BASE™へアップロードします。2 次読影医は自身の PC 上で gastro BASE™を用いて読影を行います。読影後にシステムの運用がスムーズに行われるかを検証・評価します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

問診情報(既往歴、ピロリ菌検査歴、除菌歴、アレルギーの有無、抗血栓薬内服の有無)、内視鏡画像、内視鏡診断情報

7. 外部への試料・情報の提供

(提供：100 例)

試料・情報は個人が特定できないよう氏名等を削除し、クラウド上の AIM 社の読影システムである gastro BASE™ へアップロードし提供します。
対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

海外への提供はありません

9. 研究組織

研究代表者：

筑波大学附属病院 つくば予防医学研究センター 部長・病院教授 奈良坂俊明

研究協力者

筑波大学附属病院	つくば予防医学研究センター	病院講師	高山敬子
筑波大学附属病院	消化器内科	病院講師	小林真理子
筑波大学附属病院	光学医療診療部	病院講師	小松義希
筑波大学附属病院	消化器内科	臨床教授	
つくば消化器・内視鏡クリニック		院長	鈴木英雄

共同研究機関および研究責任者

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-18-1 Hareza Tower 11F
株式会社 AI メディカルサービス 経営企画部門 クラウド事業グループ
長田 剛

10. 利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は AIM 者の拠出する共同研究経費です。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

11. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

12. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：筑波大学附属病院 つくば予防医学研究センター部長 奈良坂俊明

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1
日時：月～金 9:00～16:00
電話：029-853-4205